

JICA「メキシコ人口活動促進プロジェクト」への協力

国際協力事業団（JICA）は、1984年7月にメキシコ政府と締結した「メキシコ人口活動促進プロジェクト」の年度活動をレビューするために、年1回の巡回調査団をメキシコに派遣している。本年度は、昭和61年11月26日～12月7日に、小林和正 日大教授を団長とする5名から成る調査団を派遣したが、本研究所からは阿藤誠 人口動向研究部長が参加した。

仕事は、メキシコ市にある国家人口審議会事務局兼研究調査機関（CONAPO）において行われ、CONAPO側から本プロジェクトの進捗状況の説明を受け、日本から派遣されている長期専門家との協議を踏まえて、日墨間の協定文書の覚書の改訂を行った。

プロジェクトの内容は、各州の人口政策推進活動の支援、人口データ・ベースづくり、各種人口推計、人口教育研修、マスコミによる人口キャンペーン、人口教育プログラム向上のための調査などからなり、これに対してJICAが機材供与と専門家の技術協力によって支援することを約束している。プロジェクトは全般的に順調に進められており、今回のミッションでは残り2年間の計画調整が行われた。

協議の合間をぬって米国との国境に位置するバハ・カリフォルニア州の首都メヒカリ市とティファナ市の2市を訪問した。そこで州の人口問題審議会（CONEPO）の活動状況に関する報告を受け、同時に不法移民の出国場所として有名な地域を視察した。

（阿藤 誠記）